

高松市公の施設指定管理者導入施設に対する評価

評価対象期間：平成31年4月1日～令和2年3月31日

施設名	高松市健康増進温浴施設		
指定管理者	シンコースポーツ・四電ビジネスグループ	施設所管課等	スポーツ振興課
指定期間	平成28年4月1日～令和3年3月31日(5年間)	公募・非公募の別	公募
所在地	高松市塩江町安原下第3号2074番地2	業務の概要	・施設運営業務・維持管理 受付業務・プール監視・施設清掃・設備維持 自主計画業務(水泳教室・レッスン・イベント) ・プール利用料金に関する徴収等事業
施設の概要	【施設】鉄筋コンクリート造(一部鉄骨造)地下1階地上1階 ・温水プール(20m×3コース/歩行コース1周60m/キッズプール・アクアジム ・更衣室・浴槽他 【職員状況】 プール施設管理 常駐5名/設備員 非常駐2名※季節により変動有 【開館時間】終日10:00～20:30 毎週火曜日休館		

	項目名	令和元年度	平成30年度	項目名	令和元年度	平成30年度
利用状況等	プール利用者	49,243 人	48,522 人	自主事業(サービスプログラム)	699 回	722 回
	自主事業(水泳教室)	5 期	5 期	自主事業(サービスプログラム)参加人数	3,090 人	3,196 人
	自主事業(水泳教室)参加人数	505 人	382 人			
収支状況等	指定管理料	62,120 千円	61,550 千円	支出実績(総額)	71,847 千円	68,075 千円
	収入実績(総額)	79,357 千円	78,106 千円			
	(うち利用料金自主事業料金)	17,237 千円	16,556 千円			

評価基準	評価項目	指定管理者自己評価コメント	所管課等評価
1 基本事項	①法令上必要な知識等、安全対策、危機管理	○法令上定められ点検等を有資格者により確実に実施。また、長期的に考えた維持管理計画と設備機器の保守点検を確実にを行い、その結果を基にPDCAサイクルを活用し、精度の高い維持管理を行った。 ○安全・安心に利用いただけるよう有資格者を配置し、定期的な研修を実施する事で事故防止に動めた。 ○個人情報保護法(SNS対策)の研修を全従業員に実施し個人情報の取扱いの徹底に努めた。	S
	②個人情報の保護、情報公開、環境への配慮		
2 住民の平等な利用確保	①管理運営、施設事業との関連性	○高松市スポーツ施設条例の設置目的を踏まえ、幅広い年齢層の方が利用できる健康増進温浴施設として運営を行った。管理運営に携わる者が集まり「運営委員会」また高松市担当課と行う「定例会議」を月1回実施し、報告や今後の計画、問題点など意識統一を図った。 ○幅広い年齢層の方が参加しやすいレッスンプログラムを構成したり、定期的イベントを実施し楽しんで頂けた。	S
	②平等な利用の確保		
3 施設の効用の最大限の発揮	①利用促進対策	○ホームページ・Facebook・Twitterの定期的な更新などで施設紹介。年間計画を立て近隣にポスティング等を実施。また、「リビングたかまつ」「ナイスタウン」「おやこでわはは」等への掲載を行った。 ○自主事業に関して、健康維持や筋力維持を目標とした高齢者向けのレッスンをを行った。 ○昨年同様、高松祭りに協賛を行ったり、関係団体と法人契約を継続した。また、新たに塩江地区のお祭りに参加し地域貢献を行った。 ○アンケートを実施し、改善できることは迅速に対応。利用しやすい施設づくりを行った。	A
	②広報・PR対策		
	③企画事業・自主事業		
	④市・関係団体・地域等との連携		
	⑤サービス向上の取組		
	⑥相談・苦情への対応		
4 管理を安定して行うための人員及び財政基盤の確保	①職員確保計画等	○適正な配置のため、シフト作成とローテーション作成を同時進行を実施。スタッフ全員を対象に緊急時対応研修や接客接客研修を定期的に行うことで個人のスキルアップ向上に努めた。また、年2回の社内合同研修(接客接客・救助技術向上など)を実施する事で業務の質を維持・向上・レベルの統一を図った。 ○就業規則に基づき、日常業務及び労務管理を行った。 ○損害保険など、運営業務及び維持管理業務ともに適切な保険へ加入している。 ○経営・収入計画は、順調に進んでおり、大きな相違・問題点は見られない。また、経費の定期的な監査を受け執行管理に努めた。	A
	②教育・研修		
	③就業規則等の遵守		
	④施設運営の健全性の確保		
	⑤損害保険等		
	⑥収支計画と執行管理		
5 管理に係る経費の削減	①収入の確保・適正な人件費	○「アイス」「ささみ」を平成30年度に引き続き販売。また、新商品として「プロテインバー」や「とんぼ玉(アクセサリー)」を販売。幅広い年齢層の方に購入していただけた。 ○平成30年度に引き続き、水道・電気の使用を細目にチェックし削減に努めた。また、裏紙を使用したコピーやモノクロ印刷などを行い節約に努めた。	A
	②運営経費の節減対策・コミュニティビジネスの視点		
	③経営の効率化		
	④合理的な会計制度		

総合評価コメント	総合評価
施設利用者が、安心して利用できるような有資格者の配置や定期的な研修の実施など、事故を未然に防ぐ取組みを行っており、また、有資格者による点検等、不具合箇所の早期発見等安全対策を実施しているとともに、個人情報の保護については、研修やマニュアルの作成を実施しており、評価できる。 毎月、管理運営に携わる担当者で構成される運営委員会や市担当課と委員会構成員との業務報告を行い、市からの要望についても迅速に対応・報告ができています。 子どもや年配の方を対象にしたイベントや、季節に合わせたイベントの開催、季節感のある館内装飾の実施など、利用者ニーズの向上に取り組み、また、障がい者の方が一人でも利用できるように、分かりやすい案内表示に努めている。新型コロナウイルスの影響により利用者数が減少する時期もあったが、様々なレッスンの開催や多様な広報活動を行った結果、前年度に比べ利用者数が増加した。 ホームページの更新を随時行う以外に、より多くの利用者に情報提供できるようFacebook等の継続や近隣へのポスティングなど、さまざまな方法でPRできており、評価できる。 物品販売の工夫等により経営・収支計画に関しては順調であり、また、適正な経常利益を計上しており、健全な財政基盤を維持している。さらに、用紙の節約やデマンド装置の設置による電力の抑制を行い、前年より指定管理料及び支出実績を抑制している。	A